

午後Ⅱ試験

全問共通

全問に共通して、対象の組込みシステムの概要・技術的特徴が不明瞭な論述が散見された。システムについて複雑な状況を説明する際には、必要に応じて図・表を活用し、分かりやすく具体的に論述することを心掛けてほしい。解答に当たっては、エンベデッドシステムスペシャリストとして、自らの経験や考えに基づいて、組込みシステムの技術的特徴を踏まえた上で、求められている事項に対して詳細に説明することが望まれる。

問1

問1では、多くの論述で、対象の組込み製品を企画する際の生産形態に対する意思決定において、その生産形態とした理由、メリット、課題解決策について具体的に論述されていた。一方で、製品の技術的特徴が具体的に述べられていない論述、単にソフトウェア開発の外注としての受託や部品の調達についての論述が散見された。エンベデッドシステムスペシャリストにおいては、対象の組込みシステムの製品を企画する際、製品の生産形態における内製、ODM、OEM、EMSの委託・受託によるメリットや遂行するための解決策を検討し、適切に意思決定が行えるように心掛けてほしい。

問2

問2では、対象の組込みシステムの特徴を捉え、どのような事前検証を行ったか、その背景を含めて具体的に論述されていた。また他部署との協力も、事前検証に必要な内容を明確に論述しているものが多かった。一方、事前検証の詳細な検証手順、又は開発工程の説明に終始し、事前検証の目的と効果への言及に乏しい論述も散見された。エンベデッドシステムスペシャリストにおいては、対象の組込みシステムの新規機能・新規アーキテクチャ導入に向けた事前検証において、他部署との協議のためなどに事前検証の目的と効果を明確に伝達する機会がある。そのため日頃から、例えば図表を用いるなどによって、他部署の方にも分かりやすい説明・提案ができるよう、心掛けてほしい。

問3

問3では、対象の組込み製品にあらかじめ実装した保守業務を支援する機能・構造について、具体的に論述されていた。一方、その組込み製品に採用した保守の方式・形態について具体的に述べられていない論述や、保守業務を支援する機能・構造を開発する上でハードウェアとソフトウェアの開発技術者間で検討した内容について具体的に述べられていない論述が散見された。エンベデッドシステムスペシャリストにおいては、対象の組込み製品を開発するに当たり、保守方式・形態に合わせた保守業務を支援する機能・構造を、関係する開発技術者、保守要員との協力のもと検討して、開発を行えるように心掛けてほしい。